



大阪市会だより

平成23年12月

会派別議員数	11月22日現在
	定数86人
大阪維新の会	33人
公明党	19人
自由民主党	17人
OSAKAみらい	9人
日本共産党	8人

平成22年度公営・準公営企業会計決算を認定

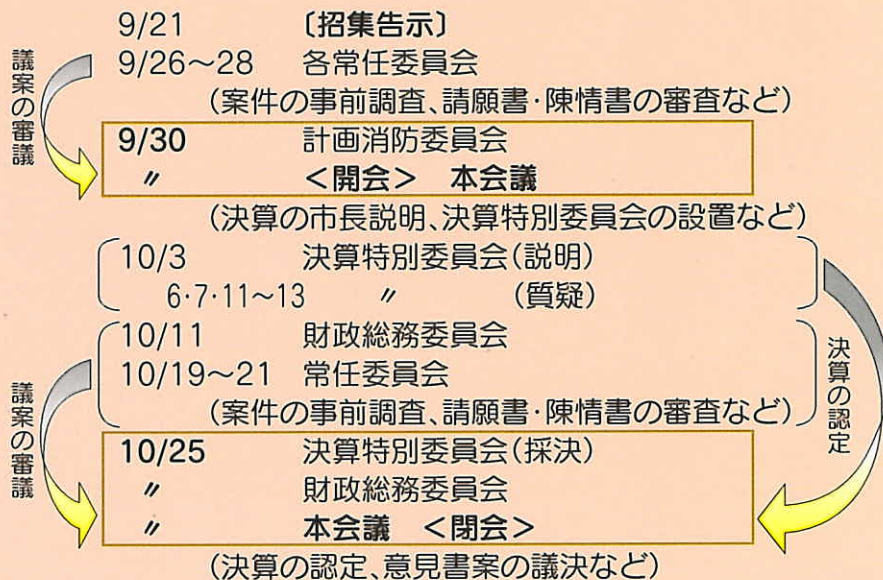
9月・10月市会定例会

大阪市会では、平成22年度の公営企業会計(バス、地下鉄・ニュートラム、水道、工業用水道、市民病院)及び準公営企業会計(中央卸売市場、港営、下水道)の決算報告などを審議する9月・10月定例会を9月30日から10月25日まで開きました。

決算報告については、9月30日の本会議において決算特別委員会を設置し、その審査を経た後、10月25日の本会議において賛成多数により認定しました。

また、この定例会では、議員提出による「大阪府中小企業振興基本条例案」(可決された議員提出議案については、P11に掲載)や「エネルギー政策の見直しを求める意見書案」などの案件を議決しました。

市会の動き



~決算特別委員会の質疑から~



石原決算特別委員長

決算特別委員会では、10月6日から5日間、各委員がさまざまな観点から質疑を行いました。

そのおもな内容を10月25日の本会議で行われた決算特別委員長の審査報告をもとに紹介します。

交通

事業	収益		費用		差引		平成22年度 未処分利益剰余金 △未処理欠損金	
	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円
バス	189	7,032	204	9,363	△15	2,331	△604	3,518
地下鉄・ ニュートラム	1,642	2,595	1,403	2,406	239	0,189	186	3,811

問 交通事業については

答 地下鉄事業では、これまでの経費の削減の取組みにより、全国の公営地下鉄で初めて累積欠損金を解消しました。今後は「さらなる安全・安心の向上、質の高いサービスの追求、社会への積極的な貢献」の3つの挑戦に取り組んでいきます。利益還元については、料金施策に活用するほか、財務リスク軽減のための積立など活用方針を検討していきます。

また、バス事業については、依然厳しい経営状況にあり、「アクションプラン」に基づく経営改善方策に取り組み、平成27年度までにバス事業の収支均衡を図っていきます。

交通事業の経営形態については、組織のリストラや行革といった観点ではなく市民・利用者により効率的で最適な輸送サービスを提供するという観点から、今後の交通局の取組実績を見極めながら判断していきます。

さらに、地下鉄の市域外延伸については、これまで進めてきたが、周辺市等から協力要請があった際には、適切な役割分担の下、前向きに協力、連携していきたいと考えています。

そのほか、自動車運送事業会計について、営業収益に対する人件費比率が約8割に及ぶことから、民営化も踏まえて検討すべきであるとの質疑がありました。

決算特別委員会委員

委員長	(公明)	石原 信幸		
副委員長	(公明)	小玉 隆子	(自民)	多賀谷 俊史
委員	(維新)	井戸 正利	福島 真治	村上 栄二
		守島 正	角谷 庄一	木下 誠
	(公明)	木下 一馬	片山 一步	伊藤 良夏
	(自民)	西 徳人	金沢 一博	辻 義隆
	(みらい)	太田 晶也	北野 妙子	川嶋 広稔
	(共産)	森山 よしひさ	長尾 秀樹	
		山中 智子	井上 浩	

水道

事業	収益		費用		差引		平成22年度 未処分利益剰余金 △未処理欠損金	
	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円
水道	680	7,397	628	3,305	52	4,092	138	1,599
工業用水道	18	3,651	15	9,302	2	4,349	△15	8,711

問 水ビジネスの海外展開については

答 海外展開にあたっては、本年4月に経済団体とともに「大阪市 水・環境ソリューション機構」を設立しました。また7月に経済産業省の公募による調査事業に官民連携で採択されるなど、国を含めた官民が一体となり、チーム関西、チームジャパンとして海外展開に取り組み、国内外の水・環境問題に対し、大阪市が有するシステムや技術力により貢献を果たし、市民の方々に誇りに思ってもらえる大阪市にしていきたいと考えています。

問 今後の水道事業のあり方については

答 府域一水道については、水道料金の値上げや安定給水への影響を考えると本市が大阪広域水道企業団に参加する状況にないが、浄水から給水までのトータルシステムの構築と市民生活に直結する末端給水事業の統合をいかに行うかという視点が必要であり、市民・府民がウィン・ウィンの関係を結べることをめざして、広域化の形を検討することが重要であります。

そのほか、水道料金に関して、料金体系のあり方を含めた今後の経営見直しについて質疑がありました。